

その後回復し、他学生とともにプログラムに参加した。この体調不良の学生には同行した千葉大学教員と、SCIE ならびに現地コーディネーターが対応し、宿泊所での療養だけで回復に至った。現地活動を3日間とりやめて学生は、他の学生から情報を共有してもらい、ともにプレゼンテーションを行った。

予定通りにプログラムを終え、参加学生全員が無事に帰国した。

2-7. ISL プログラム受け入れ 実施

2-7-1. 参加学生

SIU にて募集・選考の結果、看護学部学生2名、看護学研究科学生8名の計10名の学生が参加者となった。2022年度は初回であり、トライアルであるので看護学部(SCON: Symbiosis College of Nursing)から優秀な学生を選抜し、派遣することになった。

2-7-2. プログラム期間

2023年3月1日(水)～3月9日(木)の9日間であった。

2-7-3. 学習内容

学習テーマ

前述の通り、「Health of older people and community-based integrated care systems in Japan 日本の高齢者の健康と地域包括ケアシステム」を大テーマとした。下位のトピックとして、ソーシャルキャピタル、災害準備の2つを設定した(図18参照)。千葉大学医学部附属病院ならびに千葉大学フロンティア医工学センター見学については、見学の目的として、先端医療・医療工学開発、とした。

プログラム初日に、インドでの学習と同様に、学生を2つのチームに分けた。2日目の朝のブリーフィングにて、各学生チームが焦点化するトピックを選択し、決定した。千葉大学生がインドで行ったのと同様に、現地演習最終日には、学生はこれらのテーマで学習成果についてプレゼンテーションを行った。

現地演習スケジュールと訪問施設・組織等

表12の通りである。この受入プログラムについては、インドでのプログラム同様に、2, 3箇所の施設・組織での活動参加として、同一施設・組織に2, 3日続けて参加し、一つのトピックについて学習する案も出されたが、前述の通り、プログラム立案会議にて、同一施設での連日の活動は行わない趣旨であり、トライアルとして表13の通り10カ所の組織・施設での活動というスケジュールとなった。施設の規模や個人宅への訪問看護同行など、10名では多すぎる場合があり、数名ずつに分けて2回訪問するなどの方法をとった。10カ所の組織・施設についての説明は、テンプレートでの資料に示した通りである。健康な住民が自ら集まり、体操等を行う活動から、企業が健康促進の機会を

提供する活動、そして障害を持つ人々の入所施設、在宅で療養する人々への訪問看護同行、路上生活者や生活困窮者を支援する組織での活動など、幅広いものとなった。Neighborhood Care では、場所がもともと一般の一軒家であり、日本の一軒家での生活の体験や、利用者である地域住民との懇談を持ち、利用者の皆さんの手作りの昼食をいただき、御礼としてインドの音楽やダンスを披露するなど、交流の機会となった。災害シチズンサイエンスでは、石橋准教授らの提供によるアプリを用いて墨田近辺を散策し、災害時の設備などを確認し、偶然にも設備を管理する地域住民の方から直接お話を聞くこともできた。また、訪問看護の同行では、施設スタッフのアレンジにより、患者とご家族の皆様にはインドの学生並びに通訳の同行をお引き受けいただき、在宅での療養の様子を見せていただき、お話を聞かせていただいた。

2-7-4. 学生交流

日本においても、インドでと同様に、すでに GRIP 参加学生として SIU を訪問した学生がバディとしてプログラムに同行した。毎回 2, 3 人の学生が同行した。最終プレゼンテーション時には、学部によっては実習時期と重なっているため 10 名全員が参加することはできなかったが、9 名の学生が参加した。また、プログラム以外でも、SIU 学生の要望に応じて千葉大学学生が夕食の同伴や、浴衣の着付けなどを行っていた。

2-7-5. 生活支援

SIU 学生は、千葉大学の留学生寮に空きがなく、千葉駅直結のホテルに滞在した。コーディネーターである SGS と、千葉大学教員による google スペースにて 24 時間連絡がとれる体制で対応した。連日、異なる施設に電車やバスで出かけ、インドに比べると圧倒的に歩行距離が多かったとのことだが、体調不良者もおらず予定通り演習を終えた。

食事については、ほぼ全員が食品や料理等の吟味と選択に時間を要した。レストランやフードコート、コンビニエンスストアにおいても日本語のみの表記であることがボトルネックであり、介助を要した。さらに、時間通りの集合が困難であることが何度もあり、集合時刻を早めにするなどして対応した。

2022 年度 GRIP プログラム 日本を実施場所とする GRIP プログラム ISL のフィールド

1. 日本を実施場所とする ISL のテーマとトピック、フィールド、活動等 (案)

1) テーマ : Health of older people and community-based integrated care systems in Japan
日本の高齢者の健康と地域包括ケアシステム

2) 概要: 世界で最たる超高齢社会である日本では同時に少子化および人口減少の状況にあり、増加し続ける高齢者の医療・福祉等のアクセス向上、そしてその結果としての健康寿命の延伸や QOL の向上は、世界においても喫緊の課題である。2022 年度の日本での ISL は、高齢者の健康と QOL 向上のために、多様な社会文化経済的状态ならびに健康レベルにある住民の生活場所や、住民自らが行う自助や互助、そして民間の施設や組織による支援の場においてフィールドスタディを行い、高齢社会における社会課題とその具体的解決策ならびに枠組みとしての地域包括ケアシステムについて学習する。

3) トピックと扱う内容、フィールドとなる組織・施設等

トピック	内容	組織・施設	エリア
ソーシャルキャピタル	1. 生活困窮改善・防止、孤立・孤独防止【自助・互助・共助】	①山友会他(路上生活者支援)	墨田・浅草エリア
	2. 日常における健康増進機会と場の提供と活用【自助・互助】	②イオンショッピングモール・モール内ウォーキング(海浜幕張)	葛西・東京湾エリア
	3. 住民によるつながりの構築・維持【自助・互助】	③葛西のインド人コミュニティ ④東千葉地区自治会	千葉市中央 葛西・東京湾エリア
	4. 在宅ケアと集いの場所提供による包括的な健康の支援【互助・共助】	⑤Neighborhood Care(訪問看護・居場所づくり他) ⑥なごみの陽訪問看護ステーション	千葉県北エリア(柏)
	5. 在宅医療ケア提供による地域生活支援【共助】	⑤Neighborhood Care(訪問看護・居場所づくり他) ⑥なごみの陽訪問看護ステーション	千葉市中央エリア(40分)
災害への備え	4. 災害弱者・災害発生時の備えとしての日頃の活動【自助・互助・共助】	④東千葉自治会 ⑥なごみの陽訪問看護ステーション ⑦災害シチズンサイエンス(災害準備教育) ⑧りべるたす(共同生活援助)	千葉市中央エリア 墨田・浅草エリア
先端医療・医療工学開発	5. 高度医療ケア・技術開発・実践	⑨先端医療(大学病院、CCSC) ⑩フロンティア医工学センターラボ見学	千葉市中央

図 18 日本での ISL 学習テーマとトピック、組織・施設等

表 12 現地演習スケジュール

月 2月27日	火 2月28日	水 3月1日 (1日目)	木 3月2日 (2日目)	金 3月3日 (3日目)	土 3月4日 (4日目)	日 3月5日
現地 departure	07:30 arrival@Narita lunch@亥鼻	9:00 ホテルピックアップ、オリエンテーション 亥鼻に移動 ⑨大学病院見学 10:00-11:40	10:00 プリーフィング@ホテルロビー 10:30 各フィールドに向けて出発 Aグループ5名 12:45~15:00 ①山友会(台東区)アウトリーチ Bグループ5名 12:45~15:00 ⑤Neighborhood Care(柏)	9:20 プリーフィング@ホテルロビー、移動開始 11:00 集合@千葉大学墨田サテライトキャンパス ⑦墨田・浅草 災害シチズンサイエンス プリーフィング 11:30~アプリを用いてウォーキング 13:00 再集合 デブリーフィング 13:30 解散	10:00 ホテルピックアップ 11:15 西葛西駅到着 11:30~ ③葛西:インド人コミュニティ、Holi 祭参加 13:00 西葛西駅集合、移動 ③葛西:インド人コミュニティ 14:00-17:30 ヨギさんご講義(インド文化センター) *中間評価(リフレクションシート)	【自己学習】歴史的建造物探訪など
	15:00 ホテルチェックイン	西千葉 Campus tour 13:00-17:30 ⑩フロンティア医学センター見学(13:30 正面玄関集合) チーム分け 18:00 解散				【自己学習】歴史的建造物探訪など
3月6日 (5日目)	3月7日 (6日目)	3月8日 (7日目)	3月9日 8日目			
Aグループ5名 8:10 集合@ホテルロビー、移動 9:40~ ⑤Neighborhood Care Bグループ5名 10:00 集合@ホテルロビー、移動 11:30~ ⑤Neighborhood Care 全員 11:30~lunch@Neighborhood Care 15:00	2名 8:30 集合@ホテルロビー、プリーフィング、移動 移動 10:00~11:30 ⑥なごみの陽訪問 看護ステーション 8名 8:50 集合@ホテルロビー、移動 10:00~12:00 亥鼻正門から車で移動 ⑧りべるたす見学 Lunch@イオンモール 14:00~16:00 ②イオンモールウォーキング(海浜幕張) 解散	8:20 集合@ホテルロビー、プリーフィング、移動 9:30~ ④東千葉地区訪問 Aグループは10:30まで、 Bグループは11:00まで、その後自由時間 Aグループ 12:45~15:00 山友会アウトリーチ参加	チェックアウト 亥鼻(GRIP 推進室)に移動 9:50 プレゼン準備 10:00~10:50 Final presentation 10:50-11:00 修了証授与(酒井先生) 11:10-11:30 久保田様懇談 11:45-12:00 Joshi 先生講評 *最終評価(リフレクションシート) 12:00-13:00 farewell lunch ランチ後ホテル、空港に移動 18:40 Departure@Narita			

表 13 日本でのフィールド演習における訪問組織・施設 1～10 に関する説明

施設・組織等番号	1. 山友会
学習トピックと内容	ソーシャル・キャピタル 1. 生活困窮改善・防止、孤立・孤独防止【自助・互助・共助】
名称	認定 NPO 法人山友会
所在地	〒111-0022 東京都台東区清川 2 丁目 32 番 8 号
施設概要	無料診療、生活相談、炊き出し・アウトリーチ、食堂（食事提供）、宿泊支援、居場所・生きがづくり、スタディツアーなどの活動を通して、路上生活を余儀なくされた人々との社会的なつながりを築いています。 （無料診療・地域保健、生活相談・地域生活支援事業、給食サービス事業、居住支援事業、居場所・生きがづくりプロジェクト、共同墓地の維持・管理、山谷・アート・プロジェクト）
施設 URL	https://www.sanyukai.or.jp/ https://www.youtube.com/watch?v=WiqNcVSsxUs&t=18s 山友会公式チャンネル https://www.youtube.com/@npo491 配付資料： 事前視聴 YouTube 動画多数（別紙）
交通機関	最寄り駅 南千住（日比谷線、JR、筑波エクスプレス）
連絡担当教員	野崎
演習時の同行教員	1 回目：無し、 2 回目：野崎
演習日時	1 回目：2023 年 3 月 2 日（木） 12：45～15：00 2 回目：2023 年 3 月 7 日（火） 12：45～15：00
演習時の参加学生人数・氏名	参加学生人数 1 回目：SIU の看護学生 5 名、通訳兼任コーディネーター 2 名、計 7 名 2 回目：SIU の看護学生 5 名、SIU 教員 1 名、千葉大学ボランティア学生 1 名、教員（野崎）1 名 計 7 名
演習内容	1. 目標 路上生活者の状況を知る 路上生活者への支援内容を知る 2. 演習活動の内容（予定） 炊き出しのアウトリーチに参加：実際に路上生活者に食事を配布、体調

	<p>を聴取、相談室等の社会資源の紹介 山友会内の仏壇や遺影等の見学・説明を受ける 無料クリニックの見学、患者、診療活動の説明を受ける</p>
<p>当日の スケジュール</p>	<p>集合時刻・場所 1, 2 回目とも、12:45 に山友会集合。13 時から現地に移動、食事配布、ブルーテント訪問等。 15 時終了、山友会に移動。15 時半頃解散。 山友会に戻った後に、山友クリニックの見学と説明（10 分程度）。 Joshi 先生のみ徒歩 3 分の「神の愛の宣教者会」にインド人ブラザーに会いに行ったが不在で会えず。</p>
<p>持ち物・服装・ 注意点など</p>	<p>屋外活動となるので、寒くない服装、歩きやすい靴</p>

①山友会 配付資料(抜粋、山友会より配布)

https://www.sanyukai.or.jp/_files/ugd/800a75_06230830f6ea4023bc5a484f848f6c9e.pdf



施設・組織 等番号	2. イオンショッピングモール モール内ウォーキング
学習トピッ クと内容	ソーシャル・キャピタル 2. 日常における健康増進機会と場の提供と活用【自助・互助】
名称	イオンショッピングモール (モールウォーキング) イオンモール幕張新都心
所在地	〒261-8535 千葉県千葉市美浜区豊砂1-1他
施設・活動 概要	ショッピングモール 千葉大との共同にて、モール内ウォーキングの効果検証済み。
施設 URL	イオンモールウォーキング https://makuharishintoshin-aeonmall.com/news/information/882
交通機 関	最寄り駅 京葉線 幕張豊砂駅 (当時は海浜幕張駅、そこからバス)
連絡担当教 員	野崎
演習時の同 行教員	野崎
演習日時	2023年3月7日(火) 14時-16時
演習時の参 加学生人 数・氏名	参加学生人数 SIUの看護学生10名、SIU教員1名、通訳兼任コーディネーター2名、 千葉大学ボランティア学生2名、教員(野崎)1名 計16名
演習内容	1. 目標 民間企業が住民に提供している健康増進の場と動機付け、方法などを知る 2. 演習活動の内容(予定) ショッピングモール担当者より説明を受ける 実際にコースを歩いてみる、アプリをインストールして使用してみる(任 意)
当日の スケジュール	集合時刻・場所 14:00 従業員入り口前(建物外部)集合 (入場者は数日前の事前予約が 必要、セキュリティチェック有り) 14:00-15:00 説明(日本語のスライドで日本語での説明、要通訳) 15:00-16:00 実際にアプリを入れて(任意)コース(短い1kmのコー ス)を歩く
持ち物・服	歩きやすい靴

装・注意点 など	アプリインストールは任意
-------------	--------------

②イオンモールウォーキング 説明文書(教員から学生へ)

Reference for AEON MALL WALKING in this afternoon (イオンモールの Web サイト
説明文書を英訳したもの)

Let's start! Aeon Mall Walking

Take a casual walk while shopping!

You can use the mall as a walking course.

What is Aeon Mall Walking?

As an initiative to support our customers' healthy lifestyles, we have set up courses inside Aeon Mall and made them open to the public. We also provide leaflets and signs indicating walking distance and calories burned to support your walking!

What makes Aeon Mall Walking different?

4 comfortable features of Aeon Mall Walking:

Make the most of your time while shopping!

By incorporating walking into your shopping routine, you can turn your usual shopping time into a healthy activity.

Not affected by time or weather!

Have you ever planned to go for a walk but then it started raining? At Aeon Mall, you can walk at any time regardless of the weather or time!

Rest spaces for peace of mind

There are plenty of rest spaces throughout the mall, equipped with sofas and benches. You can use them freely depending on your physical condition and pace.

Vending machines and food shops abound!

With vending machines and food shops available throughout the mall, you can replenish your energy and hydration according to your pace. If you get hungry while walking, please enjoy delicious food at the food court or restaurants!

Start with your posture! Walk with a beautiful posture!

The Japan Walking Association's Certified Healthy Walking Instructor supervised videos on walking with a beautiful posture. (Click to play the video.)

☆ Basic form of walking

☆ Warm-up stretch

☆ Cool-down stretch

☆ One point of walking with a bag

To ensure safe and enjoyable walking, we would like to ask you to:

- Pay sufficient attention to your physical condition and those around you, and enjoy walking safely.
- Be especially careful and give way to others during events or crowded times.
- Please refrain from running or walking while looking at your phone, as it can be dangerous.
- Please stop and use the escalator when moving, as it can be dangerous.
- Please note that we cannot be held responsible for accidents that occur during Aeon Mall Walking.

=====

施設・組織等番号	3. 葛西のインド人コミュニティ訪問 プラニク・ヨゲンドラ様 ご講演
学習トピックと内容	ソーシャル・キャピタル 2. 日常における健康増進機会と場の提供と活用【自助・互助】
名称	1. ホーリー祭参加 2. 江戸川印度文化センター
所在地	1. 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 6-11 2. 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 6-23-11
施設・活動概要	1. 第5回 色の祭ホーリーの集い (5th Holi Mela in Tokyo) 2023年3月4日(土) 10:00~16:00 西葛西・恐竜公園にて開催。以下 URL より「ホーリー祭り」は、インドやネパールで、春の訪れ祝うヒンドゥー教の春祭りです。黄色、青、緑などのカラフルな色粉と水を掛け合い、春の訪れと豊作をお祝いします。今年も多くのインド人が多く住む西葛西に位置する恐竜公園を会場に開催されます。2019年以來の開催となり、今回で第5回目を迎えます。 2. 江戸川印度文化センター 江戸川区は、葛西地区を中心にインド住民が多く生活する日本屈指のインド人コミュニティを有する。江戸川印度文化センターは、インドに関する正しい情報や教育を発信することを目的に、西インド出身のプラニク・ヨゲンドラ氏が中心となり 2017年に設立された。ヨガ、語学、料理、美術等の文化的レッスンを開催する他、大型手彫り祭壇を備えた2階の印度寺院ではヒンドゥー教の宗教関連行事も行われ、地域に住む日本人と印度人の交流の場となっている。
施設 URL	1. Holi 祭 5 th Holi Mela in Tokyo https://event.exantenna.net/tokyo/ironomatsuri-holi.html 2. 江戸川印度文化センター https://rekacorp.com/culture-center
交通機関	最寄り駅 1. 東西線西葛西、2. 東西線葛西
連絡担当教員	1. 無し (SGS)、2. 天井
演習時の同行教員	1. 野崎、孫 2. 野崎
演習日時	2023年3月4日(土)
演習時の参加学生人数・氏名	参加学生等人数 SIUの看護学生10名、SIU教員1名、通訳兼任コーディネーター3名、

	千葉大学ボランティア学生2名、教員(野崎)1名 計17名
演習内容	<p>1. 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で暮らす外国人が抱える課題を知る ・島国であり多くの国と比べると文化の混ざりが少ない日本で、誰もが暮らしやすい環境をどのように作っていけるのかを考える <p>2. 演習活動の内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド人を中心とした在日外国人が抱える、医療へのアクセス、言語の壁、子どもたちの教育を含む課題について、プラニク・ヨゲンドラさんの講義を聴く。 ・意見交換
当日のスケジュール	<p>集合時刻・場所</p> <p>10:00 ホテル ロビー集合</p> <p>11:10 西葛西駅到着 恐竜公園に移動</p> <p>11:20~ Holi 祭参加</p> <p>13:00 西葛西駅改札集合、移動</p> <p>14時 インド文化センター集合、講義聴講</p> <p>17:30 終了</p>
持ち物・服装・注意点など	特になし

施設/組織等番号	4. 東千葉地区自治会
学習トピックと内容	ソーシャル・キャピタル 3. 住民によるつながりの構築・維持【自助・互助】 災害への備え 4. 災害弱者・災害発生時の備えとしての日頃の活動および支援【自助・互助・共助】
名称	東千葉地区自治会
所在地	東千葉住宅地5自治会集会場
施設概要	自治会 東千葉地区 元気カフェ
施設 URL	https://chiiki-kaigo.casio.jp/chiba/info_services/47866
交通機関	最寄り駅 JR 東千葉駅
連絡担当教員	井出
演習時の同行教員	井出、野崎
演習日時	2022年3月8日(水) 9:30~11:00
演習時の参加学生人数・氏名	参加学生人数: SIU の看護学生 10 名、SIU 看護学部教員 1 名、ボランティア学生 2 名、通訳兼任コーディネーター 2 名、千葉大教員 2 名、計 17 名 10 時半に SIU 学生 5 名、SIU 看護学部教員は移動
演習内容	1. 目標 住民の住民による健康やつながりの維持・構築のための活動を知る 住民の災害への備えについての活動状況について知る(地域住民ならびに地域特性を踏まえた災害準備支援) 2. 演習活動の内容(予定) 地域・組織概要の説明を聞く、 活動や参加者の様子を見学・参加(体操、朝市など) 災害準備・準備支援活動について説明を受ける 意見交換
当日のスケジュール	集合時刻・場所 1. バス集会所到着: 9:30 2. 各位自己紹介: 9:30 ~ 9:40 千葉大、わの会 自己紹介 3. わの会の紹介: 9:40 ~ 10:00 わの会の紹介(スライド)

	<p>4. 元気カフェ : 10:00 ~ 10:30 元気カフェ体操(前半部分)</p> <p>(Bグループ5名、Joshi先生と野崎はここで退席、山友会に移動)</p> <p>5. 質疑応答 : 10:30 ~ 11:00 留学生から、先生から</p> <p>6. 終了 : 11:00</p>
持ち物・服装・注意点など	一緒に運動するので運動できる服装

④東千葉自治会 配付資料(抜粋) 当該組織よりいただいたもの



Welcome!




和-style Caring Community in Higashi-Chiba, Japan

- In search of a community model
that enables 'living the life we/elder people wish to live' -

Higashi Chiba Chiiki no WaWaWa no kai

* 和 (wa) = harmonious / peaceful / Japanese ; 輪 (wa) = circle (of friends)

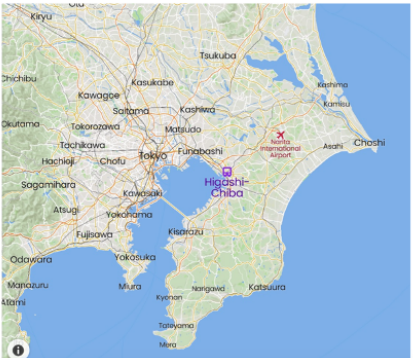
Contents

1. About Higashi-Chiba district
2. Starting process of 和-style Caring Community "wawawanokai"
3. Overview of 和-style Caring Community "wawawanokai"

Higashi-Chiba District (East Chiba)

Chiba City (~1 million inhabitants) is the capital city of Chiba Prefecture, which is part of the Greater Tokyo Area.

40 km (25 mi) east of the centre of Tokyo on Tokyo Bay – a 'typical' commuter belt / satellite town in Japan.



施設・組織等番号	5. Neighborhood Care (ビュートゾルフ柏、Neighborhood Café)
学習トピックと内容	ソーシャル・キャピタル 4. 在宅ケアと集いの場所提供による包括的な健康の支援【互助・共助】
名称	非営利型一般社団法人 Neighborhood Care
所在地	〒277-0082 柏市緑ヶ丘 11-5
施設概要	訪問看護ステーション(ビュートゾルフ柏) Neighborhood Café 介護保険法に基づく居宅サービス事業等 前号以外の看護、介護、介護予防、生活支援に関する事業 子育て支援に関する事業 成年後見に関する事業 コミュニティカフェに関する事業 地域ケアに関する調査研究、情報収集、情報発信事業
施設 URL	https://neighborhoodcare.jp/
交通機関	最寄り駅 JR 柏
連絡担当教員	酒井、野崎
演習時の同行教員	野崎
演習日時	1回目：2023年3月2日(木) 2回目：2023年3月6日(月) 詳細は下記、スケジュール参照
演習時の参加学生人数・氏名	1回目：SIUの看護学生5名、SIU教員1名、千葉大教員(野崎)1名、ボランティア学生2名 計8名 2回目：SIUの看護学生5名、千葉大学ボランティア学生4名、教員(野崎)1名 計7名 昼食前にSIUの看護学生5名、通訳兼コーディネーター4名が合流、昼食時以降 計16名
演習内容	1. 目標 訪問看護ステーションと訪問看護の実際を知る 住民の健康やつながりの維持・構築のための支援としての居場所提供について知る 居場所において住民がどのような活動をしているのか、どのような意味があるのか知る

	<p>居場所において住民と交流を持つ</p> <p>2. 演習活動の内容(予定)</p> <p>地域・組織概要の説明を聞く</p> <p>活動や参加者の様子の見学・参加(訪問看護に同行)</p> <p>居場所において住民の皆さん提供の食事を一緒にとり歓談する</p> <p>文化的な交流活動として歌唱などを披露する</p> <p>意見交換</p>
当日のスケジュール	<p>集合時刻・場所</p> <p>1回目：2023年3月2日(木)</p> <p>2回目：2023年3月6日(月)</p> <p>Aグループ5名： 9時40分現地集合(ホテル発8:20)</p> <p>10時~訪問看護同行、地域の関係者会議同行</p> <p>11:30~Neighborhood Careに戻りランチ</p> <p>Bグループ5名： 11:30頃 現地到着 ランチに合流</p> <p>全体 ランチをとりながら自己紹介、懇談、インドの歌・ダンス披露</p> <p>15時頃 終了、柏駅で解散</p>
持ち物・服装・注意点など	訪問看護同行に差し支えない服装

⑤Neighborhood Cafe 配付資料(抜粋、施設より配布いただいた)



⑤ビュートゾルフ柏（配付資料 抜粋 施設からいただいたもの）

訪問看護ステーション ビュートゾルフ柏

- 特徴
 - 土日祝日も含めて365日稼働しています
 - ・ ただし、週末は配置数が少ないため必要最低限の訪問にしています
 - ICT（カナミック）による情報連携を積極的に行っています
 - ・ カナミックで連携している事業所の方は当事業所の看護記録をすべて閲覧可能です
 - ・ ICT活用により電話を必要最小化する努力をしています（電話により患者対応が中断してしまうため）
 - 管理者／非管理者の区別がありません
 - ・ 全員対等な同僚として働いています
 - ・ 各患者の対応は基本的に担当看護師が中心になって対応します
 - 在籍型出向により他法人と連携しています
 - ・ 柏訪問リハビリ看護ステーション等の療法士が当事業所に出向しています
 - ・ 逆に当事業所の看護師が柏訪問リハビリ看護ステーション等に出向しています
 - 夜間の待機当番を複数法人で協同しています
 - ・ 上記の在籍型出向を用いて、柏訪問リハビリ看護ステーションと夜間の待機当番を協同しています
 - ・ 毎日の待機当番に負担を感じている他ステーションともぜひ連携できるとありがたいです
 - 働き方改革を意識しています
 - ・ 常勤でも週4日32時間勤務が多く、週3日24時間の短時間常勤者もいます
 - ・ ほぼ常時定時退勤のため17:30（早いと17:00過ぎ）以降は待機当番にしか電話がつながりません

施設番号	6. なごみの陽訪問看護ステーション
学習トピック と内容	ソーシャル・キャピタル 5. 在宅医療ケア提供による地域生活支援【共助】 災害への備え 4. 災害弱者・災害発生時の備えとしての日頃の活動および支援【自助・互助・共助】
名称	特定 NPO ウェルネスライフパートナーズ 訪問看護事業 なごみの陽訪問看護ステーション
所在地	〒266-0032 千葉県千葉市緑区おゆみ野中央7丁目35-3
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別な医療処置等の実施（全内容）、 ● 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による訪問リハビリテーションを実施 ● 看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士の医療専門職が在籍 ● 小児から高齢者まで幅広い年齢層に対応し、終末期の看護、リハビリテーション看護、小児看護、難病や心疾患など進行性疾患や慢性期疾患看護など幅広く対応 ● その方の能力を最大限に引き出し、可能な限り自立した生活が（セルフケア能力の評価）その人らしくおくれるように支援 ● 24 時間対応 ● 地域づくりの行事企画、開催、場所の提供など （下記 URL より）
施設 URL	http://wellnesslife-nagomi.pl.bindsite.jp/pg3000.html https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php?action_kouhyou_detail_004_kani=true&JigyosyoCd=1260190439-00&ServiceCd=130
交通機関	最寄り駅 JR 鎌取駅からバス、おゆみの南で下車
連絡担当教員	野崎
演習時の同行教員	野崎
演習日時	2022 年 3 月 7 日 (火) 10:00~11:30
演習時の参加学生人数・氏名	SIU 学生 2 名、SGS 若尾さん、野崎 計 4 名

施設・組織等番号	7. 災害シチズンサイエンス(災害準備教育)ワークショップ
学習トピックと内容	災害準備教育 4. 災害弱者・災害発生時の備えとしての日頃の活動【自助・互助・共助】
名称	当日の拠点として使用した場所 千葉大学墨田サテライトキャンパス
所在地	〒131-0044 東京都墨田区文花1丁目19-1
ワークショップ概要	災害準備教育用として開発されたアプリを用いて、実際に1時間強、町歩きを行う。 町歩きを体験し、災害準備教育の重要性や方法について考察する。
施設 URL	墨田サテライトキャンパス アクセス https://www.chiba-u.ac.jp/access/files/access2021.pdf
学生対応者(施設代表)	ワークショップ担当教員：石橋みゆき准教授(看護学研究院)
交通機関	最寄り駅 東武亀戸線 小村井駅 徒歩5分(他にも都バス)
連絡担当教員	野崎
演習時の同行教員	石橋先生、孫先生、野崎
演習日時	2023年3月3日(金)
演習時の参加学生人数・氏名	<ul style="list-style-type: none"> ● SIU(シンピオシス国際大学): 看護学部学生10名、同学部長 Dr. Joshi 計11名 ● CU(千葉大学): 石橋みゆき先生、石井彩先生、野崎、SGS(通訳: 中路様、若尾様 計2名)、ボランティア学生(医学部、看護学部、薬学部、国際教養学部、計6名) うちボラ学生2名欠席 総計18名
演習内容	1. 目標 <ul style="list-style-type: none"> ● 平常時における災害準備教育用として開発されたアプリを用い、実際に街の中を歩いてみることにより、街の中の様子を知る。(ウオーキング体験をする) ● すでに発災時に備えて準備されている物品や場所等を知り、減災のための活用方法を考察する。 ● 高齢社等の他者への支援としての災害準備教育の必要性や、効果的な方法、自国への移転可能性等について考察する。

	<p>2. 演習活動の内容(予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集合、ワークショップの目標・方法・アプリの使用法等の説明を聞く 2. 6, 7 人のグループとなり、実際にアプリを使用しつつアプリに登録されている目標物やコースに沿って歩く。 3. 楽しみながら、約1時間強、町歩きを行う。 4. 町歩き後には出発点である墨田サテライトキャンパスに再集合し、感想や意見を交換する。その後、現地解散。
<p>当日のスケジュール</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ホテル集合の方 (野崎他) <ul style="list-style-type: none"> 09:20 ホテルロビー集合・出発・千葉駅に移動 09:43 千葉駅発各駅停車「中野行き」出発 10:27 亀戸 着・下車 東武亀戸線にのりかえ 10:33 出発 東武亀戸線「曳舟行き」、10:38 小村井駅(おむらい駅)到着 徒歩7分 10:47頃 千葉大学墨田サテライトキャンパス到着見込み 以下、現地集合に続く 2) 現地集合の方 (SGS様) <ul style="list-style-type: none"> 11:00 千葉大学墨田サテライトキャンパス 1階 集合 2階に移動し、Briefing(説明・石橋みゆき先生) 2階 11:20頃 アプリを入れるなどして出発、(3グループにわかれて) 町歩き実施 12:50 千葉大学墨田サテライトキャンパス 2階 集合 Debriefing(感想を述べる) 13:00 グループ写真撮影後、解散
<p>持ち物・服装・注意点など</p>	<p>歩きやすい靴、水など各自準備、 専用アプリは可能であれば入れる、同行の日本人がアプリを入れて見せるなどして対応</p>

2023 GRIP (JAPAN)

March 3, 2023 (Friday)

Walking Tour Preparing for Disaster Using “Mimamoriai” App

NISHI INO MATSU
CHIBA TOMO



What to Do During the Walking Tour

- Using the “Mimamoriai” App, we will walk around the points indicated on the map.
- While listening to the app's voice guidance, we will walk around the town and observe its nature, facilities, and people, with a focus on how we can enhance our disaster preparedness.

Exploring the town with a focus on how we can enhance our disaster preparedness.

- Tips for Walking Safely:
 - ✓ Take breaks as needed, such as stopping to rest or think.
 - ✓ Wear comfortable and appropriate clothing and footwear for walking.
 - ✓ Adjust your clothing to suit the temperature.
 - ✓ Bring water or other hydration options and check for nearby nutrition replenishment options ahead of time.
 - ✓ Walking in an unfamiliar town, or even a familiar one with a new perspective, can be surprisingly tiring.
 - ✓ Allow enough time for the walk and leave extra time for unexpected events.
 - ✓ Prioritize your own questions and curiosities based on your experience.
 - ✓ If there are any concerns, let the teacher know during the preparation time.

Enjoying a town walk.

- Tips for Enjoying a Town Walk:
 - ✓ "Fun" is the driving force that moves people.
 - ✓ Use your five senses to experience the town (pay attention to what your body senses, such as the town's smells, sounds, views, colors, ease of walking, and the terrain's high and low points!)
 - ✓ Discover new findings that are not included in the program.
 - ✓ Confirm the things you have considered in advance.
 - ✓ Enjoy serendipity (be flexible and take advantage of serendipitous events).
 - ✓ Planning is important for enjoying the walk.
 - ✓ On the other hand, there is also learning from things that do not go according to plan.

March 3, 2023

Walking Workshop: Preparing for Disaster using “Mimamoriai” App

- The program was created by students, specifically Team Sumida. Please watch it together with the presentation materials attached separately.
- What you need: a smartphone or tablet (either iPhone or Android is acceptable).
- There are two ways to watch the program:
 - Method 1: Click on the URL: <https://mimamoriai.com/programs/Nnk2s9xyevgR0CnV>. Please click the URL on your smartphone. If you haven't downloaded the "Mimamoriai" app yet, clicking the URL will direct you to the app download page. After downloading the app, click the URL again on your smartphone to watch the program.
 - Method 2: Scan the QR code (below)



If you haven't downloaded the Mimamoriai app, you will need to scan the QR code twice on your smartphone.

- 1st time: It will take you to the app download screen.
- 2nd time: Follow the download instructions and press "Read" below the text "By reading the QR code, you can join the group and receive information on the home screen" on the screen where the character appears to scan the QR code.

The Mimamoriai app has a limited distribution function that allows you to build connections without collecting personal information. You only need to input your name and affiliation on the bottom of the screen, and you don't need to provide personal information such as email addresses. Also, since only people who know this QR code can watch the program, it is a mechanism that allows people with common goals to connect with each other.

Disaster Citizen Science Exercise
Disaster preparedness town walk

Mukojima area, Sumida Ward
story

A university student who moved to the Mukojima district of Sumida Ward saw a fire and investigated fire prevention measures. As the student researched alleys that use water, I spread it to flood control.

Sumida Ward and Mukojima District

Sumida Ward, Tokyo, is located in the delta between the Sumida River and the Arakawa River, and along with Ota Ward in Tokyo and Higashi Osaka Ward in Osaka Prefecture, it has been known as a representative industrial cluster.

Sumida Ward is currently one of the special wards located in the eastern part of Tokyo, with an area of 13.77 square kilometers and a population of 279,300 (as of October 1, 2022). The population is increasing due to the construction of condominiums.

Until the Edo period, it belonged to Shimousa Province with the Sumida River as its border, and was a rural area. Triggered by the Great Fire of Meireki in 1657, the daimyo and hatamoto mansions were relocated, and the southern Honjo district was divided into towns. Urbanization and industrialization progressed after the Meiji period, and Honjo Ward was established in 1878, and Mukojima Ward was established in 1932 in the northern part of the ward, which was once a farming area. Sumida Ward was in 1947 born from the merger of Honjo District and Mukojima Ward. As a result of these developments, the urban structure of Sumida Ward differs greatly between north and south. The city has survived the disaster, and the urban area has progressed in a state where infrastructure development has been delayed, and there is a complicated topography.

- The Mukojima district has a low non-combustibility rate.

Sumida Ward has been carrying out fireproofing projects for 10 years, but the Mukojima area is still low. This time, I investigated the Mukojima area in detail.



Workshop Guidelines for Disaster Preparing Citizen Science on March 3, 2023 (Friday)

1. Participants:

- Symbiosis International (SIU): 10 nursing students and the Dean of the School of Nursing Dr. Joshi, totaling 11 participants
- Chiba University (CU): Prof. Miyuki Ishibashi, Prof. Aya Ishii, Ms. Nosaki, SGS (interpreters: Ms. Nakaji and Ms. Wakao, totaling 2), and 6 volunteer students from the medical, nursing, pharmaceutical, and international liberal arts departments, totaling 20 participants.

2. Timetable:

1) Participants meeting at the hotel (Nosaki and others):

9:20 AM: Meet at the hotel lobby, depart for Chiba Station

9:43 AM: Take the local train "Nakano-bound" from Chiba Station

10:27 AM: Arrive at Kameido Station, transfer to the Tobu Kameido Line

10:33 AM: Take the Tobu Kameido Line "Hikifune-bound"

10:38 AM: Arrive at Omurai Station, walk 7 minutes.

Around 10:47 AM: Expected arrival at the Chiba University Sumida Satellite Campus

Continued with on-site gathering.

2) Participants meeting on-site:

11:00 AM: Gather on the first floor of the Chiba University Sumida Satellite Campus. Move to the second floor for briefing (by Prof. Ishibashi).

11:10 AM: Depart in 3 groups for a town walk.

12:50 PM: Gather on the second floor of the Chiba University Sumida Satellite Campus for debriefing (share impressions)

1:00 PM: Dismissal

3. Program Coordinator: Prof. Ikuko Sakai (Graduate School of Nursing, Chiba University)

4. Contact Person: Ms. Akiko Nosaki (Lecturer, Graduate School of Nursing, Chiba University)

Email: nosakiko@chiba-u.jp, Phone & Fax: 043-226-2773

施設・組織等番号	8. リべるたす
学習トピックと内容	災害への備え 4. 災害弱者・災害発生時の備えとしての日頃の活動および支援【自助・互助・共助】
名称	社会福祉法人リべるたす
所在地	〒260-0802 千葉県千葉市中央区川戸町 468-1
施設概要	障害福祉サービス 相談支援事業、共同生活援助、自立生活援助、居宅介護、移動支援 共同生活援助・介護サービス包括型 就労移行支援・就労継続支援 B 型 生活介護、訪問看護 等
施設 URL	https://www.libertas-mail.jp/
交通機関	最寄り駅 千葉駅
連絡担当教員	野崎
演習時の同行教員	無し（博士後期課程の看護師資格所有者に同行を依頼）
演習日時	2022 年 3 月 7 日 (火) 10:00~12:00
演習時の参加学生人数・氏名	参加学生人数：SIU の看護学生 8 名、SIU 看護学部教員 1 名、ボランティア学生 2 名、通訳兼任コーディネーター 4 名、研究科博士後期課程院生 1 名 計 16 名
演習内容	1. 目標 施設の活動状況を知る 災害への備えについての活動状況について知る（地域住民の特性【例：身体障害を有する高齢者など】を踏まえた災害準備支援） 2. 演習活動の内容（予定） 施設概要の説明を聞く、 施設や入所者の様子、活動の見学 災害準備・準備支援活動について説明を受ける
当日のスケジュール	集合時刻・場所 3 月 7 日 (火) (8:50 ホテルロビー集合、玄鼻にバスで移動) 10:00 千葉大看護学部入り口(旧正門)ロータリー内集合 リべるたす

	<p>のバスでピックアップ、終了後蘇我駅で降車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークステーション(千葉市中央区長洲)にて、医療的ケアなどがある方の障害者就労を見学 ・A L S や電源が必要な方が多く入所する施設の見学(千葉市中央区川戸町) <p>防災に関する説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り、意見交換
<p>持ち物・服装・ 注意点など</p>	<p>持ち物、服装の注意は特になし。サージカルマスク着用とのこと。</p>

施設・組織等番号	9. 千葉大学医学部附属病院、同 CCSC
学習トピックと内容	先端医療・医療工学開発 5. 高度医療ケア・技術開発・実践
名称	千葉大学医学部附属病院
所在地	〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
施設概要	千葉大学医学部附属病院 特定機能病院、高度急性期病院、
施設 URL	https://www.ho.chiba-u.ac.jp/ https://www.ho.chiba-u.ac.jp/hosp/en/index.html
交通機関	最寄り駅 JR 千葉駅、JR 蘇我駅
交通費	千葉駅からの公共交通機関利用時の料金 京成バス「南矢作行き」あるいは「千葉大学病院行き」乗車、220 円
連絡担当教員	酒井、野崎
演習時の同行教員	野崎、天井、孫
演習日時	2023 年 3 月 1 日（水）
演習時の参加学生人数・氏名	SIU(シンビオシス国際大学): 看護学部学生 10 名、同学部長 Dr. Joshi 計 11 名 千葉大教員 3 名、千葉大学学生ボラ 6 名 計 20 名
演習内容	1. 目標 最先端とも言える高度医療を提供する施設を見学し、看護師等のスタッフより説明を受け、日本の高度医療の現状を知る 2. 演習活動の内容（予定） 病院内を見学し、実際の医療の現状を知る CCSC を見学し、高度医療の基盤となる医療技術者の教育状況や方法を知る
当日のスケジュール	（千葉大学医学部附属病院看護部より送られてきた文書） 1. 見学目的 千葉大学病院内での高度な医療を提供する施設見学 2. 日時

	<p>3月1日(水) 10:00~12:00 集合場所: 1階 時間外玄関前</p> <p>3. 見学者 インド・シンビオシス国際大学看護学部学生 10名 教員 1名 同行者: 千葉大学看護学研究院 教員、学生ボランティア等 計 20名</p> <p>4. 見学内容と対応者 キャリア開発室: 大野、渡邊、もう1名の看護師様 計 3名</p> <p>5. 見学内容: 1) 病院見学 (3グループに分かれて実施) ①大野: 1階時間外玄関 → 高齢者医療センター → 患者支援部 → リハビリテーション部 → 地下1階 CT・MRI → ひがし棟 10階 → CCSC ②渡邊: 1階時間外玄関 → 地下1階 CT・MRI → 高齢者医療センター → 患者支援部 → リハビリテーション部 → ひがし棟 10階 → CCSC ③もう1名の看護師様: 上記ルートを重複しないように見学、最後は CCSC に集合</p> <p>2) CCSC にてシミュレーターや研修用のベッドなど見学、その後病院概要の動画鑑賞、質疑応答 11:30 解散</p>
持ち物・服装・ 注意点など	マスク着用、病棟は特別室ならびに緩和ケア病棟のみ見学(ちょうど空室であった)

施設・組織等番号	10. フロンティア医工学センター
学習トピックと内容	先端医療・医療工学開発 5. 高度医療ケア・技術開発・実践
名称	千葉大学フロンティア医工学センター
所在地	千葉大学西千葉キャンパス内
施設概要	フロンティア医工学センターは、2003年に医学・工学の枠を超えた医工学の研究機関として設立され、高精度な診断・治療の実現する機器を社会に送り出すことを目指して研究開発を積み重ねてきた。
施設 URL	https://www.cfme.chiba-u.jp/en/ 資料 https://www.cfme.chiba-u.jp/files/brochure/cfme_brochure202304.pdf
交通機関	最寄り駅 JR 西千葉駅
連絡担当教員	野崎
演習時の同行教員	野崎
演習日時	2023年3月1日(水) 13:30～
演習時の参加学生人数・氏名	SIUの看護学生10名、SIU教員1名、千葉大教員(野崎)1名、ボランティア学生4名 SGS通訳兼コーディネーター4名、計20名
演習内容	1. 目標 <ul style="list-style-type: none"> 千葉大学医工学フロンティアセンターの概要を知る 医療技術開発の最先端の状況について知る 学際的な連携や協同、融合による最新技術開発活動について知る 研究開発の clinical question を知り(例: 認知症者介護ロボットなど)、日本の医療関連課題を知る 2. 演習活動の内容(予定) <ul style="list-style-type: none"> 上記について見学し、説明を受ける。 意見交換等を行う。
当日のスケジュール	集合時刻・場所 日程: 2023年3月1日(水) 13:30～ プログラム 13:30 集合(フロンティア医工学センター 正面玄関)

	<p>13:35 センター・コースの紹介 (B204, 10分)</p> <p>13:45 移動</p> <p>13:50 動物実験施設見学 (サイエンスパークセンター, 15分)</p> <p>14:05 移動</p> <p>14:10 中口研究室見学 (A204, 30分)</p> <p>14:40 移動</p> <p>14:45 羽石・岡本研究室見学 (A棟4階, 30分)</p> <p>15:15 移動</p> <p>15:25 兪研究室見学 (自然15階, 30分)</p> <p>15:55 移動</p> <p>16:00 川村研究室見学 (自然15階, 30分)</p> <p>16:30 移動</p> <p>16:40 高橋研究室見学 (自然27階, 30分)</p> <p>17:10 移動</p> <p>17:20 林研究室の紹介 (B204, 15分)</p> <p>17:35 解散</p>
持ち物・服装・注意点 など	特になし



図 19 日本でのフィールド演習の様子